

# 伊深 まちづくり協議会 だより

第 42 号

・ シールデザイン当選作が決定	1
・ [特集] “しゃべり場” が盛り上がる	2
・ 地域のトピックス	3
・ 協議会の動き	4

伊深まち協 HP アドレス <http://ibukamachi.com>

## ●伊深のシールデザインが 西野はなよさん (下本郷) の作品に決定



▲当選作となった図案を示す西野はなよさん



▲文化祭のステージ上で発表・表彰されました

当協議会では 8 月末まで伊深のイメージアップのためのシールデザインを募集していましたが、10.4 (火) に開いた審査会で当選作を西野はなよさん (下本郷伊深小 4 年生) の作品に決定し、11.6 (日)、伊深文化祭の席上、発表・表彰を行いました。

西野さんの作品は丸い図案の中に伊深の民話に出てくる「黄金の鶏伝説」につながる黄色の野鳥、太陽、森、川をイメージした図柄を配置し、ひらがなの「いぶか」と組み合わせたもので、審査委員長の渡辺泰久氏 (元伊深小校長) は「色がいい、形がいい」とオリジナル性の高さを高評価されていました。

表彰式では小林喜典まち協会長から図書券・伊深のお米が西野さんに贈られました。

図案はさっそく大・中・小のシールに印刷され、今後、伊深連絡所の窓口で販売されます。車の後部などに貼って「伊深」のイメージアップに役立ててみてはいかがでしょうか。

販売価格は以下のとおりです。

- 大 (直径 10cm) × 2 枚組 1 シール 100 円  
= (ステッカー用)
- 中 (直径 6cm) × 3 枚組 1 シール 50 円
- 小 (直径 3cm) × 6 枚組 1 シール 50 円

※デザイン募集に応募してくださった皆様には改めてお礼申し上げます。

※12月の市報配布時に大小のシールを全戸配布しました。どうぞご活用ください。





# 「伊深の未来を考えるしゃべり場」が盛り上がる

「伊深の未来を考えるしゃべり場」が 10.12 に始まって以降、第 2 回、第 3 回と回を重ねるごとに新たな参加者が加わり、盛り上がりを見せています。今年度末の「まちづくり基本構想(案)」とりまとめに向けて、更なる議論の深まりが期待されます。

## 第2回 「まちの将来像を描いてみよう！」 (11.9 水) 参加者 32 名



9月に行われたアンケート結果の紹介のあと、グループに分かれて「未来の伊深。こんなまちになったらいいね！」をテーマに絵やことばで出し合い、発表しました。たくさんの「こんなまち」が出され、最後にグループごとに一つのキャッチフレーズで締めくくられました。

### 「こんなまち」主なキーワード

自然と共に  
今あるものを守る・活かす  
笑顔いっぱい・みんな元気  
交流・集いの場があるまち  
住みやすい・賑わいがあるまち

### キャッチフレーズ

「いっぺん 伊深に住んでみや(都)～」  
「笑顔あり 人が集いし絆の場  
-豊かな自然にライトアップ」  
「自然あり まちもあり 心豊かな町 いぶか」  
「住みたいまち NO1」  
「いぶかは 伊～Ne♥️」

## 第3回 「まちをタンケンしよう！」 (11.23 祝) 参加者 45 名



第2回のふり返りのあと、6つのグループに分かれて伊深の各地を歩きながら、気に入ったところをインスタントカメラに納めていきました。そして、それらをグループごとに「発見マップ」として発表しました。今回は祝日とあってたくさんのお子様も参加してくれました。各コースとも意外な発見があったようです。

### 6つのコース

「関也～別所」  
「大洞」  
「南岡～寺洞～西切」  
「下本郷～上本郷(牛牧)」  
「南野地原～北野地原」  
「糠洞～関也(下切)」

**【お知らせ】** この「しゃべり場」のようすについては担当の市生涯学習課から「かわらばん」が発行されています。また、9月に実施された全戸アンケートについても結果がまとめられています。当協議会ではこれらの情報を地区の皆さん確実に伝えるため、伊深まち協ホームページに「しゃべり場」専用のページを開設します。12月以降はそちらもご覧ください。

## 11.1 今年度の地籍調査-現地立会いが始まりました

—今年度は大洞・上切で—

今年度で5年目を迎える地籍調査事業—現地立会いが始まりました。

今年度は大洞地区の「田口」「西ケ洞」「仲田」と上切地区の「仲屋」「中川原田」「下川原田」を、「伊深5地区」と区分して実施されます。この地区には伊深の地籍調査事業として初めてゴルフ場が含まれています。

市では「寒い時期に向かいますが、地権者にとっても行政にとっても重要な事業なので、地権者の方には忙しいなかですがご協力をお願いします」と呼びかけています。



## 11.6 伊深町文化祭が行われました

実行委員会主催による伊深町文化祭が11.6(日)、小学校体育館ほかを会場に行われました。

今年も天候に恵まれ、バザー・市場では恒例の食べ物・お値打ち品が提供されたほか、作品展示、ステージ発表では力のこもった作品や普段の練習の成果が発表されました。また、お楽しみの餅まき・抽籤会では数多くの賞品が用意され、当たり番号が読み上げられるたびに歓声が上がっていました。



## 11.12 伊深小学校で「子ども祭り」が楽しく行われました

小学校の子どもたちが地域の人たちとふれあいながら、一年の活動を披露する「子ども祭り」が今年も11.12(土)に行われました。

体育館では同校が近年力を入れている「表現力を高める活動」の一環として、歌、朗読を主とした発表が行われました。低学年はかわいいオペレッタ「スイミー」で主人公の感動と勇気を表現してくれました。中学年は市の音楽祭で発表した歌の成果をそのままに、また音楽劇で伊深の民話を披露してくれました。高学年は朗読劇「かぜのでんわ」で生きることの意味を力強



▲受付も子どもたちで



▲低学年のオペレッタ「スイミー」



▲中学年の歌



▲同 音読劇「天王用水難工事」

く表現してくれました。

ふれあいタイムでは教室で自己紹介のあと「紙コップとゴルフボールでカーリング」を楽しみ、保護者や地域の方たちと子どもたちが親しくふれあうことができました。

この催しを主体的に取り組んでいる子どもたちの姿はたくましくもあり、地域にとって子どもたちの成長の姿を実感できる貴重な機会となっています。



▲高学年 朗読劇「かぜのでんわ」



▲ふれあいタイム「カーリング」

## ■ 協議会の動き

### 11 月定例会のあらまし

11.22 に開いた 11 月定例会では主に次のことを協議・検討しました。

#### ●協議：

1. 「シールデザインの配付について」 先に決定したシールの完成品を伊深各戸に配付するため準備。
2. 11.23 (水・祝) に実施の「しゃべり場」の運営について 6 コースを設定すること、担当者、時間配分などについて協議。
3. 協議会研修会について 来年 2.19 (日) 実施の予定で進めることとした。



予告

### 親子でたこ揚げ

今年度も 1 月に実施します!!

日時：平成 29 年 1 月 28 日 (土) 予定です。

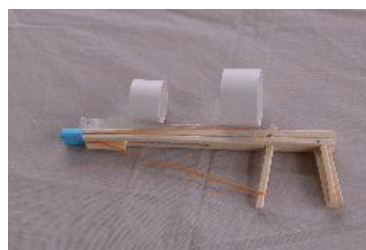
### 11.20 「親子で手作りおもちゃを作って遊ぼう」を行いました

11.20 (日)、「親子で遊ぼうプロジェクト」の一環として、身近な材料を使っておもちゃを作り遊ぶイベントを実施しました。あいにく参加は 1 組だけでしたが、講師の方と会話しながら、「切り紙飛行機」、「ぶんぶんゼミ」、「紙コプター」、「木の独楽(こま)」などを親子で作って、飛ばしたり、回したり、鳴らしたりして楽しく遊ぶことができました。

現代は電子的なおもちゃが人気ですが、こうした手作りのおもちゃで遊ぶのも良いのではないのでしょうか。



◀子どもさんも楽しそうでしたが、親さんも結構楽しんで作っておられました



◀中でも人気だった切り紙飛行機は安定して飛ぶ工夫が凝らされていました